

1 . はじめに

このたびは REX-PCI56 56Kbps DATA / 14.4Kbps Fax Modem PCI Card をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本書は、REX-PCI56 の導入を説明したマニュアルです。正しくお使い頂くため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

また、添付 CD-ROM のルートディレクトリに入っている「README.TXT」には本マニュアルに記載できなかった最新情報がありますので合わせてご覧ください。

1 - 1 . ご注意

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一不審な点や誤りなどにお気づきになりましたらご連絡願います。
- 運用の結果につきましては、責任を負いかねますので、予めご了承願います。
- 本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- Windows は米国マイクロソフト社の登録商標です。
- 一般に会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

1 - 2 . 製品の特徴

- ・ V.90 及び K56flex(自動認識)に準拠しています。56Kbps (理論値) に対応しており、インターネットも快適にお使い頂けます。
- ・ 最高 14400bps の高性能 FAX 通信速度に対応し、EIA Class1 に対応し、パソコンから直接 Fax を送信したり受信する事ができます。
- ・ Hayes 標準 AT コマンドに準拠、MNP-24, V.42, LAPM, MNP5, V.42bis に準拠したデータ圧縮機能、エラー訂正機能を搭載しています。

1 - 3 . 安全にお使い頂くために(必ずお読みください)

記号説明



この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が負傷を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。



分解や改造等は絶対に行わないでください。
無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものをのせることは行わないでください。
煙が出たり、変な臭いがする場合は、だだちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブル等もコンセントから抜いてください。
カードが濡れた場合、ショートによる火災や感電のおそれがあるため使用しないでください。

注意

本製品は電子機器ですので静電気を与えないようにしてください。
故障するおそれがあります。

ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、
ノイズを与え誤動作することがあります。

モータなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがあり
ますので、必ず離してご使用ください。

本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内仕様です。日本国外で
使用された場合の責任は負いかねます。

本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送設備など人
命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機
器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御シス
テムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故な
どが発生しても弊社ではいかなる責任も負いかねます。

直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所、暖房器具等の
近く、温度差の激しい場所チリやほこり、湿気の多い場所振動や衝
撃の加わる場所での保管は避けてください。

1 - 4 . 製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記迄お問い合わせください。
お問い合わせの際には、最後のページの「質問用紙」に必要事項を記入の上、
下記FAX 番号までお送りください。折り返し弊社より電話またはFAX、電子
メールにて回答いたします。

ご質問に対する回答は下記営業時間内の処理となりますのでご了承ください。
また、ご質問の内容によりましてはテスト・チェック等の関係上、時間
がかかる場合もございますので予めご了承ください。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター
〒 556-0012 大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル
TEL 06-6633-6766(大阪) 03-3837-3020(東京)
FAX 06-6633-3553
月～金 10:00～13:00、14:00～17:00
土曜、日曜および祝日を除く
FAX での受付は24時間行っております。

ホームページでも最新の情報をお届けしております。
ホームページからE-Mailでご質問頂けます。

<http://www.ratocsystems.com/>

2 . REX - P C I 5 6 について

2 - 1 . 対応パソコン

本製品は、PCI スロットを搭載した PC/AT 互換機に対応しています。
ただし、一部の機種では制限があったり正常に動作しない場合もありますので、メーカー名および機種型番の詳細については弊社サポートセンターに直接ご確認ください。

2 - 2 . 対応 OS

本製品は以下の OS に対応しています。

Windows 95,95a,95B,95C

Windows 98,98SecondEdition

Windows 2000

Windows Me(Millennium Edition)

Windows XP

2 - 3 . 添付品について

REX-PCI56 には PCI ボード以外に以下のものが添付しています。
不足の場合は、弊社サポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

モジュラーケーブル

ユーザーズマニュアル

保証書

DriverCD-ROM

LowProfile PCI 用ブラケット

2 - 4 . 制限

- 本製品は、日本国内向けにローカライズされているため、海外での使用はサポートされていません。
- Class 2 のみ対応の FAX ソフトウェアは使用できません。
- NTT 加入回線用に設計されてます。ボタン電話、ビジネスフォン、ホームテレフォン、家庭用キーテレフォン、PBX(構内交換機)、等に接続する場合は装置メーカーや保守会社にご相談ください。
- +48V 給電のないターミナルアダプタではご利用頂けません。仕様に関してはターミナルアダプタのメーカー様にお問い合わせください。
- Windows 2000 において本製品は、インテルプラットフォームのみの対応となります。
- 環境（回線品質、回線状況）によっては、DCE 速度が 56Kbps で接続できない事があります。
- 接続先が「K56flex」方式もしくは「V90」以外の場合は、33.6Kbps 以上の速度で接続できません。
- REX-PCI56 を 2 枚同時に使用することはできません。
- Windows 2000 では、OS 側の仕様により DTE 速度が表示されます。（ServicePack1 以上にアップすることにより回避できます）
- MMX 未対応の Cyrix 製 CPU と使用することは出来ません。

2 - 5 .AT コマンド・S レジスタ・リザルトコードについて

AT コマンドは米国 Hayes 社が開発したモデム制御コマンドです。

REX-PCI56 への制御は、この AT コマンドによって行います。

このマニュアルでは、AT コマンド・S レジスタ・リザルトコードを記載していません。これは通常に使用する場合、特に意識する必要がないためです。

もし、必要な場合 AT コマンド・S レジスタ・リザルトコード一覧表を CD-ROM 内の ATCOMAND.TXT ファイルにして用意しておりますので、参照願います。

2 - 6 . 接続できる通信回線について

REX-PCI56 が使用できる通信回線は次のとおりです。

アナログ一般公衆回線

ISDN アナログポート

以下の回線はご使用になれません。

アナログ携帯電話

PHS

デジタル携帯電話

ビジネスホン

ISDN

2 - 7 . インストールの概要

インストールは以下のように進めます。

OS が正しくインストール完了している前提で述べてます。

1. REX-PCI56 の装着

2. Driver ソフトのインストールの実行

OS の種類によって手順が異なりますので、本マニュアルに従って作業してください。

3. インストールの確認

正しくインストールされたかチェックします。

パソコン本体から、REX-PCI56 が認識されるかチェックします。

4. モデムと通信してみる

パソコンとモデムがつながったかどうかの確認をします。

パソコンからモデムに対して AT コマンドを送出します。

5. 回線に接続してみる

モデムから実際にダイヤルします。

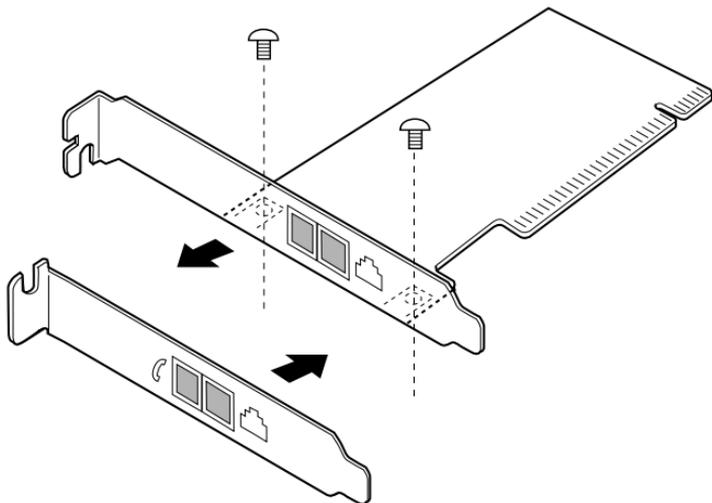
発信されることを確認します。

1 ~ 5 まで、実行できれば REX-PCI56 は正常に動作しています。

以降の章では、各 OS 別に説明していきます。

2 - 8 .Low Profile (ロープロファイル) PCI でご使用の場合

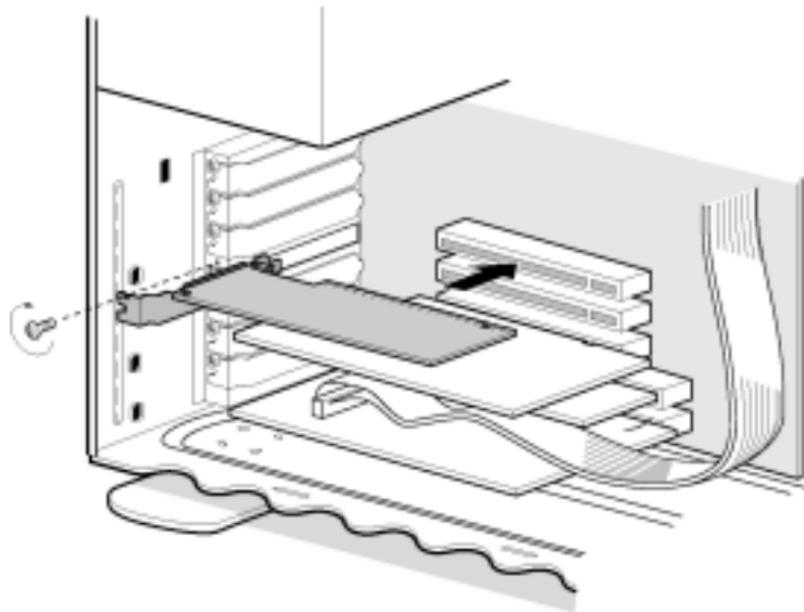
LowProfile PCI スロット搭載パソコンをご使用の場合は、本製品をパソコンに取り付ける前に、ブラケットの付け替え作業が必要です。下図のように、本製品に取り付けられているブラケット固定用ネジ（2ヶ所）を外し、ブラケットを取り外します（ ）。製品添付のLowProfile PCI 用ブラケットを取り付け（ ） 再びネジで固定します。



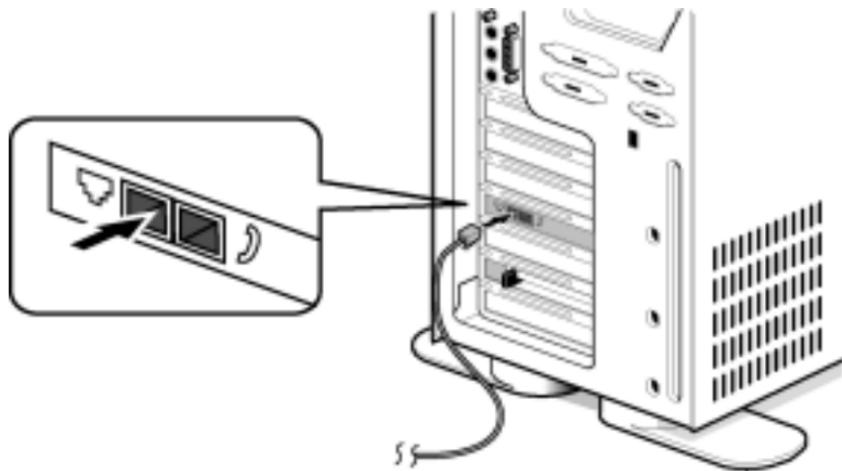
2 - 9 . パソコンへの REX-PCI56 の装着

パソコンの電源を切り(電源コードを抜いてください)

以下の絵の通りに空いている PCI バスに正しく装着します。



モデムのケーブルは以下の通りに、実際にダイヤルするまでに接続してください。



3 .Windows XP でのインストール

3 - 1 . ドライバのインストール

パソコンを立ち上げると、自動で、OS 標準のドライバがインストールされます。(画面は表示されません。また添付 CD-ROM は使用しません。)

3 - 2 . インストールの確認とモデムとの通信

1. 「スタート」 「コントロールパネル」 「パフォーマンスとメンテナンス」 「システム」をクリックします。「ハードウェア」タグを選び、「デバイスマネージャ」をクリックします。



2. 「モデム」の[+]をクリックして「PCTEL Platinum V.90 Modem」が登録されていることを確認し、「PCTEL Platinum V.90 Modem」をダブルクリックすると次頁の画面を表示します。



パソコンの機種により、名称が異なる場合がありますが。名称内に「PCTEL」の表記があれば問題ございません。

このマニュアルでは「PCTEL Platinum V.90 Modem」と表記します。

3. 「PCTEL Platinum V.90 Modemのプロパティ」画面にて「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されているのを確認します。次に「モデム」タグをクリックしてください。



4. 「ダイヤルの管理」の「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックを外します。

次に「診断」タグをクリックしてください。



5. 「モデムの照会」を選び以下の画面に変わるのを確認してください。「OK」をクリックして処理を終了させてください。



これでモデムとの通信テストは終了です。

3 - 3 . 接続してみます

1. コントロールパネルの「プリンタとその他のハードウェア」
「電話とモデムのオプション」アイコンを選択し「編集」をクリック
します。



2. 次の画面で外線発信番号やダイヤル方式の設定をしてください。
外線発信に 0 や 9 が必要な場合は、必ず外線発信番号に数字と ", " を入れてください。

ダイヤル方法 ト - ン = プッシュホン回線
パルス = ダイヤル回線 です。

内容を確認して「OK」をクリックしてください。



3. モジュラージャックにモデムケーブルを接続してください。

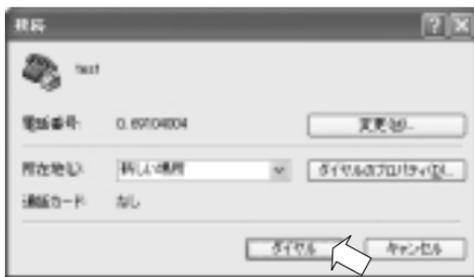
4. 「スタート」「すべてのプログラム」「アクセサリ」「通信」「ハイパーターミナル」を起動します。名前を入れて「OK」をクリックしてください。



5. 電話番号を入れ、接続方法に「PCTEL Platinum V.90 Modem」を選択し、「OK」をクリックしてください。



上の電話番号はNifty大阪のアクセスポイントです。(一例)



「ダイヤル」をクリックするとダイヤルを開始します。

6. 以下の画面で接続成功です。



上記はNiftyへの接続例です。

4 .Windows Me でのインストール

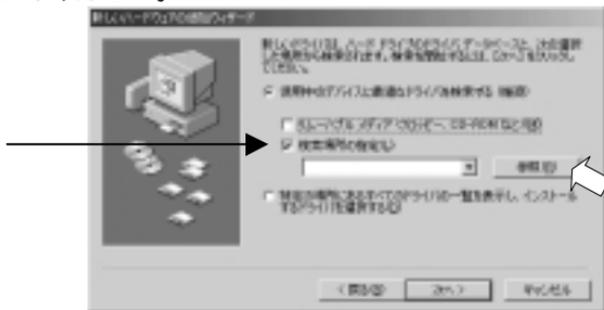
4 - 1 . ドライバのインストール

1. パソコンを立ち上げると「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されます。「ドライバ」の場所を指定する...」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

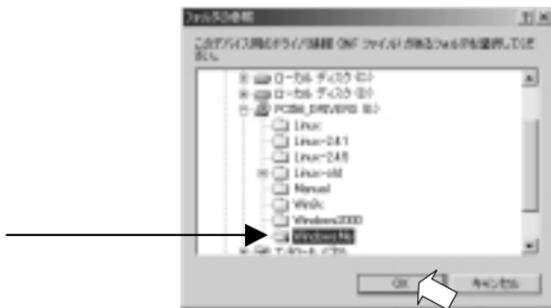


注)「適切なドライバ」を自動的に検索する (推奨)」を選択すると、WindowsMe 用のドライバ」をインストールすることが出来ません。

2. 以下の画面が表示されますので、製品添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れ、「使用中のドライブに最適なドライブを検索する(推奨)」を選択し、「検索場所の指定」にチェックを入れた後「参照」をクリックしてください。

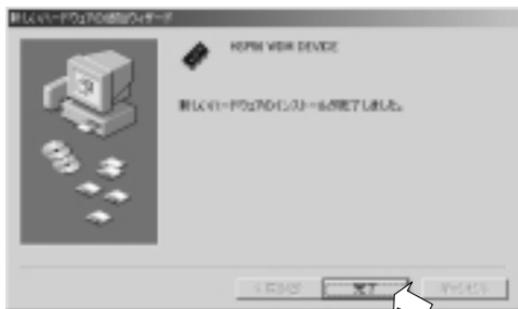


3. 「フォルダ」の参照」画面が表示されます。CD-ROM 内 (PC156_DRIVERS) の「WinMe」を選択し、「OK」をクリックしてください。



ドライバがコピーされます。

6. 次の画面が表示されます。「完了」をクリックしてください。



7. 再度「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されます。「ドライバの場所を指定する...」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



8. 前回(4.)と同様の画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



9. 「HSP56 MicroModem」と表示されていることを確認し「次へ」をクリックしてください。



ドライバがコピーされます。

10. 最後に次の画面が表示されます。

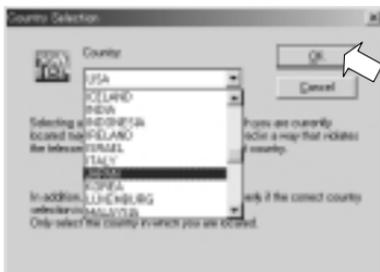
以上でドライバのインストールは完了です。

「完了」をクリックしてください。



11. コントロールパネルの「HSP56 WDM DEVICE」アイコンを開きます。

「JAPAN」を選択し、「OK」をクリックしてください。

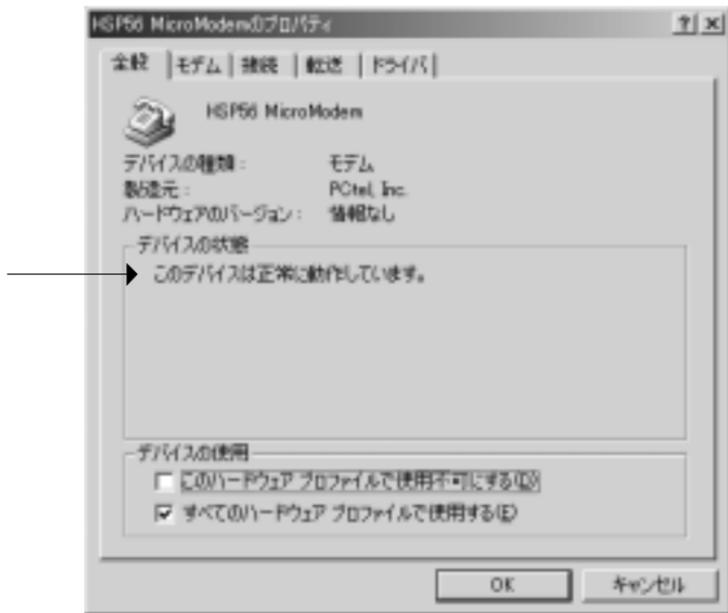


4 - 2 . インストールの確認

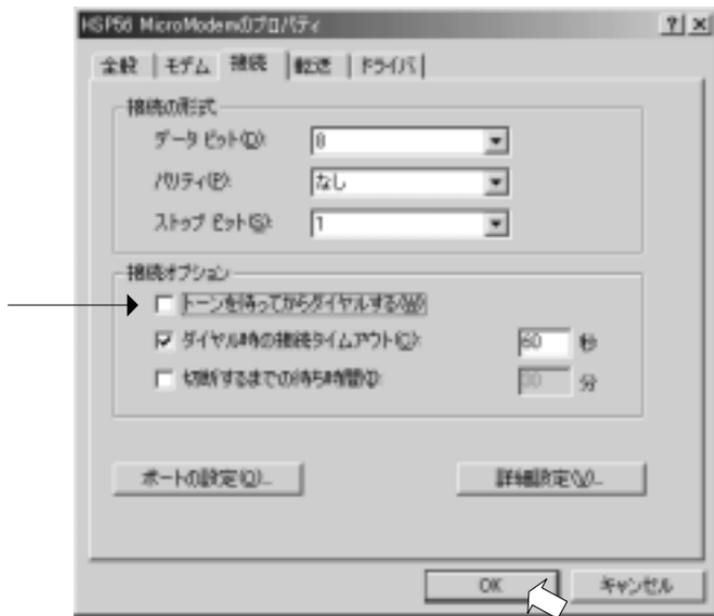
1. マイコンピュータを右クリックし、プロパティを開きます。
デバイスマネージャを開き「モデム」の+をクリックして「HSP56 MicroModem」が登録されていることを確認し、「HSP56 MicroModem」をダブルクリックすると次頁の画面を表示します。



2. 「HSP56 MicroModemのプロパティ」画面にて「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されているのを確認します。
「接続」タブをクリックしてください。



3. 外線発信を行う場合、はじめに0や9を回す必要のある構内回線を使用している場合は、以下の画面で「トーンを待ってからダイヤルする」のチェックをはずしてください。



「OK」をクリックしてください。

4 - 3 . モデムとの通信テスト

1. コントロールパネルの「モデム」アイコンを選択し「検出結果」を選択します。「HSP56 MicroModem」のポート（以下の例では「COM3」）を選択し「詳細」をクリックします。



2. 次の様に表示されることを確認ください。
表示されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。



これでパソコンと REX-PCI56(HSP56 と表示されます)との通信確認完了です。

4 - 4 . 接続してみます

1. コントロールパネルの「モデム」アイコンを選択し、「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。



2. 次の画面で外線発信番号やダイヤル方式の設定をしてください。
外線発信に 0 や 9 が必要な場合は、必ず外線発信番号に数字を入れてください。

ダイヤル方法 トーン=プッシュホン回線
パルス=ダイヤル回線 です。

ダイヤルのプロパティ

所在地情報

登録名: [] [新規追加] [削除]

国名/地域: [日本] 市外局番: [06] [市外コード]

所在地からの通話

外線発信番号:
市外通話 [0]
市外通話 [0]

キャッチホン機能を解除する番号: []

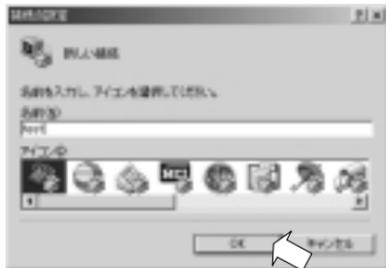
ダイヤル方法: トーン パルス

長距離通話に使用する通話カード: [なし] [変更]

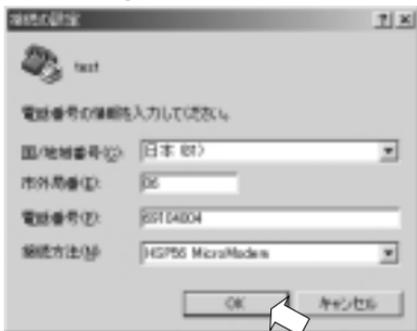
OK キャンセル 適用

3. モジュラージャックにモデムケーブルを接続してください。

4. 「スタート」 「プログラム」 「アクセサリ」 「通信」 「ハイパーターミナル」を起動します。名前を入れて「OK」をクリックしてください。「ハイパーターミナル」の表示がない場合は、P.85「ハイパーターミナルの追加」を参照してください。



5. 電話番号を入れ、接続方法に「HSP56 MicroModem」を選択し、「OK」をクリックしてください。



上の電話番号はNifty大阪のアクセスポイントです。(一例)

6. 「ダイヤル」をクリックするとダイヤルを開始します。



7. 以下の画面で接続成功です。

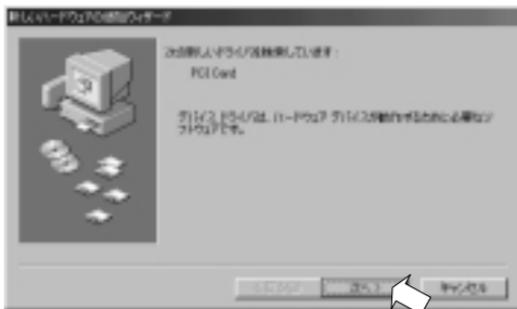


上記はNiftyへの接続例です。

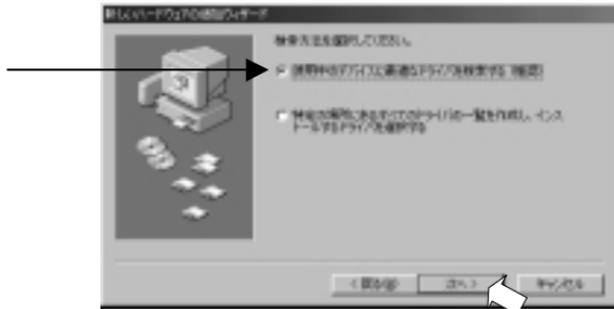
5 .Windows 98 でのインストール

5 - 1 . ドライバのインストール

1. パソコンを立ち上げると「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



2. 以下の画面が表示されますので「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し「次へ」をクリックしてください。



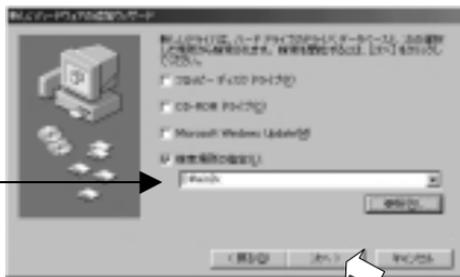
3. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れ「検索場所の指定」のみにチェックを入れ、「参照」をクリックしてください。



4. 「フォルダの参照」画面が表示されます。CD-ROM (Pci56_drivers) 内の「win9x」を指定し、「OK」をクリックします。



5. CD-ROM 内の「Win9x」フォルダが指定されていることを確認し、(以下の例では d:\win9x) 「次へ」をクリックしてください。



注) パソコンの環境により、ドライブ名(「D:」)は異なります。

6. 「HSP56 MicroModem」と表示されていることを確認し「次へ」をクリックしてください。

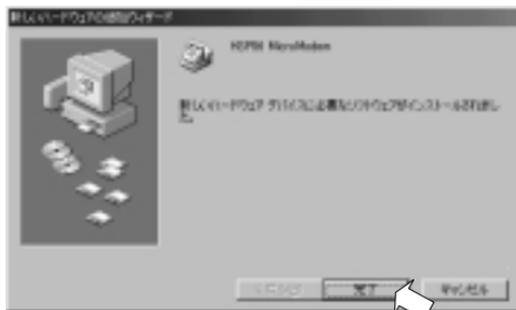


ドライバがコピーされます。

7. 最後に次の画面が表示されます。

以上でドライバのインストールは完了です。

「完了」をクリックしてください。



5 - 2 . インストールの確認

1. マイコンピュータを右クリックし、プロパティを開きます。
デバイスマネージャを開き「モデム」の+をクリックして「HSP56
MicroModem」が登録されていることを確認し、「HSP56 MicroModem」を
ダブルクリックすると次頁の画面を表示します。



2. 「HSP56 MicroModemのプロパティ」画面にて「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されているのを確認します。
「Country」タグをクリックしてください。

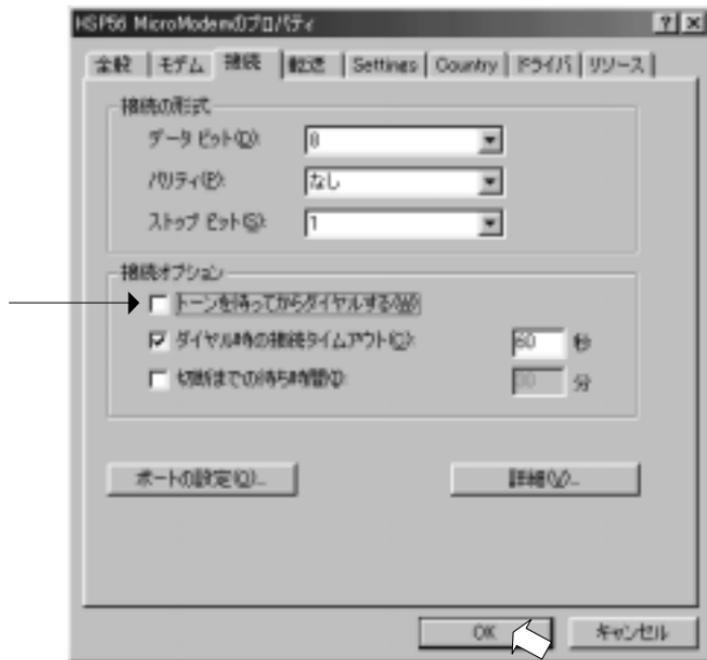


3. Contry が JAPAN になっていることを確認してください。他の国の場合はプルダウンメニューにて「JAPAN」に変更してください。内容を確認して「接続」タグをクリックしてください。



各国の選択できますが本モデムは日本のみの仕様です。他国での使用は保証されません。

4. 外線発信を行う場合、はじめに0や9を回す必要のある構内回線を使用している場合は、以下の画面で「トーンを待ってからダイヤルする」のチェックを外してください。



「OK」をクリックしてください。

5 - 3 . モデムとの通信テスト

1. コントロールパネルの「モデム」アイコンを選択し「検出結果」を選択します。「HSP56 MicroModem」のポート（以下の例では「COM3」）を選択し「詳細情報」をクリックします。



2. 次の様に表示されることを確認ください。
表示されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。
「ハードウェア IDがありません」と表示されますが、異常ではありません。



これでパソコンと REX-PCI156(HSP56 と表示されます)との通信確認完了です。

5 - 4 . 接続してみます

1. コントロールパネルの「モデム」アイコンを選択し、「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。

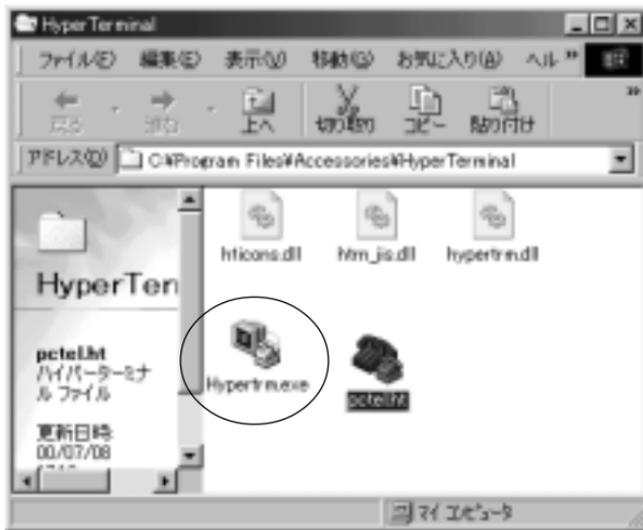


2. 次の画面で外線発信番号やダイヤル方式の設定をしてください。
外線発信に 0 や 9 が必要な場合は、必ず外線発信番号に数字を入れてください。

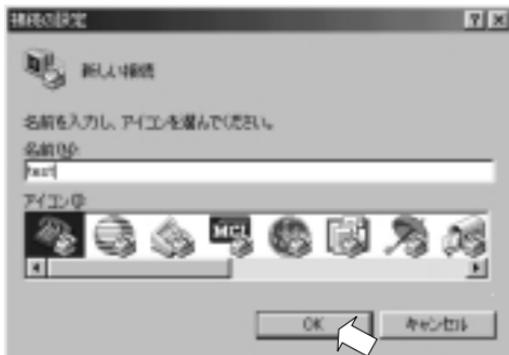
ダイヤル方法 トーン=プッシュホン回線
パルス=ダイヤル回線 です。



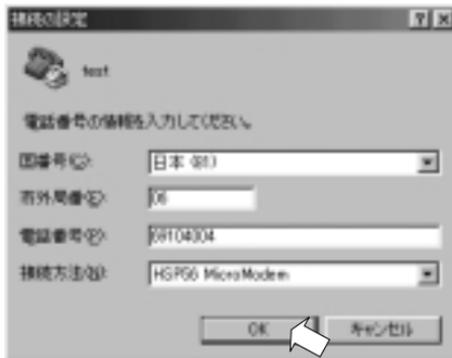
3. モジュージャックにモデムケーブルを接続してください。
4. 「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「通信」「ハイパーターミナル」で以下の画面を出し「Hypertrm」をダブルクリックします。「ハイパーターミナル」の表示がない場合は、P.85「ハイパーターミナルの追加」を参照してください。



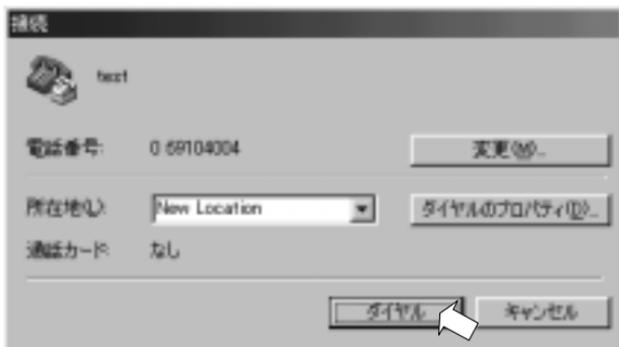
5. 名前を入れて「OK」をクリックしてください。



6. 電話番号を入れ、接続方法に「HSP56 MicroModem」を選択し、「OK」をクリックしてください。



上の電話番号はNifty大阪のアクセスポイントです。(一例)



「ダイヤル」をクリックするとダイヤルを開始します。

7. 以下の画面で接続成功です。



左記はNiftyへの
接続例です。

6 .Windows 95 でのインストール

6 - 1 . ドライバのインストール

Windows95 にはいくつかバージョンがあり、バージョンによってインストール方法が異なります。

バージョンの確認方法。

「コントロールパネル」の「システム」アイコンをダブルクリックして得られる画面の右上に

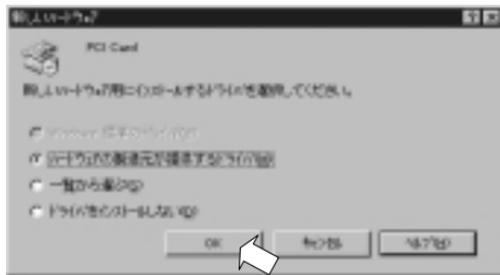
「システム Microsoft Windows 95

4.00.950」..... この数字が

4.00.950 4.00.950a の時は以下の 1.2. を実行してください。

4.00.950B 4.00.950C の時は 3. ~ 12. を実行してください。

1. パソコンを立ち上げると「新しいハードウェア」の画面が表示されます。「ハードウェア製造元が提供するドライバ」を選択して「OK」をクリックして進めてください。

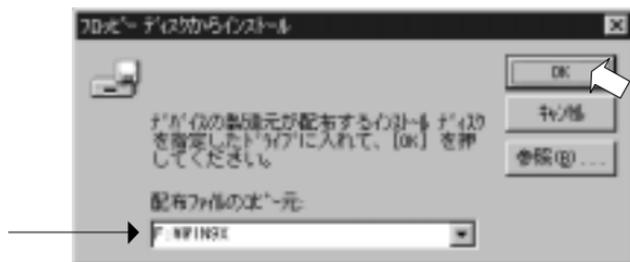


2. 製品添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れ、CD-ROM 内の「win9x」フォルダを指定します。

(以下の例では f:¥win9x)

不明の場合は「参照」をクリックして確認してください。

入力内容を確認して「OK」をクリックしてください。

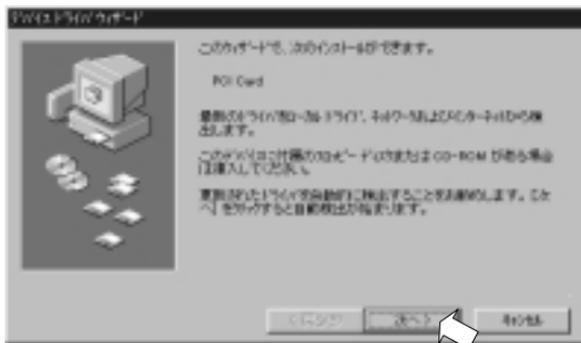


注) パソコンの環境により、ドライブ名
(「F:」) は異なります。

ドライバがコピーされて完了します。

Windows95 のバージョンが 4.00.950 あるいは 4.00.950a の時はこれで完了です。

3. パソコンを立ち上げると「デバイスドライバード」の画面が表示されます。製品添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れ「次へ」をクリックしてください。



4. 以下の画面が表示されます。「場所の指定」をクリックしてください。



5. 「参照」をクリックしてください。



6. 「フォルダの参照」画面が表示されます。CD-ROM (Pci56_drive) 内の「win9x」を指定し、「OK」をクリックします。



7. CD-ROM 内の「Win9x」フォルダが指定されていることを確認し、(以下の例では d:¥win9x) 「次へ」をクリックしてください。



注) パソコンの環境により、ドライブ名
(「D:」) は異なります。

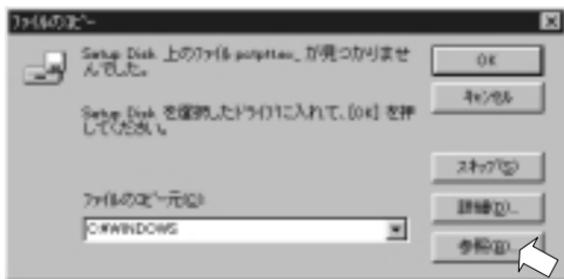
8. 以下の画面が表示されます。「完了」をクリックしてください。



9. CD-ROMが入っていることを確認し「OK」をクリックします。



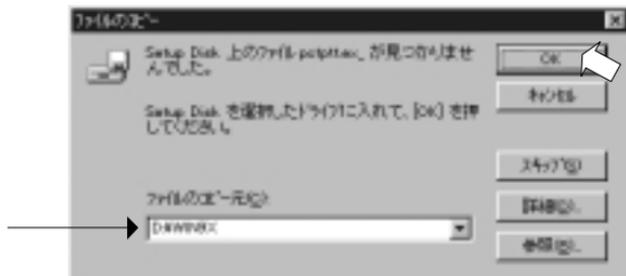
10. 「ファイルの指定」画面が表示されます。「参照」をクリックします。



11. 以下の画面が表示されます。ドライブをCD-ROMにし、「Win9x」を指定して「OK」をクリックします。



12. CD-ROM 内の「win9x」フォルダが指定されていることを確認(以下の例では d:¥win9x)し、「OK」をクリックします。



注) パソコンの環境により、ドライブ名(「D:」)は異なります。

ドライバがコピーされて完了します。

Windows95 のバージョンが 4.00.950B 及び 4.00.950C の時はこれで完了です。

6 - 2 . インストールの確認

1. マイコンピュータを右クリックし、プロパティを開きます。
デバイスマネージャを開き「モデム」の+をクリックして「HSP56
MicroModem」が登録されていることを確認し、「HSP56 MicroModem」を
ダブルクリックして次頁の画面を表示します。



2. 「HSP56 MicroModemのプロパティ」画面にて「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されているのを確認します。
「Country」タブをクリックしてください。



3. Contry が JAPAN になっていることを確認してください。他の国の場合はプルダウンメニューにて「JAPAN」に変更してください。
内容を確認して「接続」タグをクリックしてください。



各国の選択できますが本モデムは日本のみの仕様です。
他国での使用は保証されません。

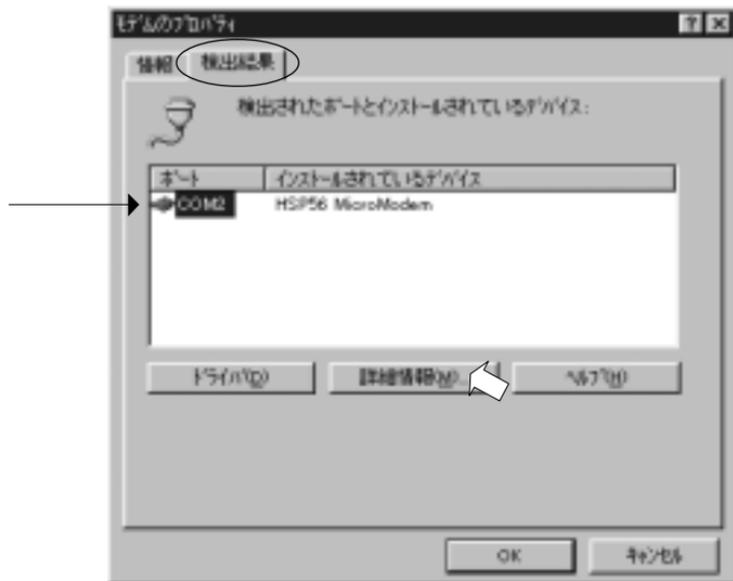
4. 外線発信を行う場合、はじめに0や9を回す必要のある構内回線を使用している場合は、以下の画面で「トーンを待ってからダイヤルする」のチェックを外してください。



「OK」をクリックしてください。

6 - 3 . モデムとの通信テスト

1. コントロールパネルの「モデム」アイコンをダブルクリックし「検出結果」を選択します。「HSP56 MicroModem」のポート（以下の例では「COM2」）を選択し「詳細情報」をクリックします。



2. 次の様に表示されることを確認ください。

表示されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

「ハードウェア IDがありません」と表示されますが、異常ではありません。



これでパソコンと REX-PCI156(HSP56 と表示されます)と通信確認完了です。

6 - 4 . 接続してみます

1. コントロールパネルの「モデム」アイコンを選択し、この画面の「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。



2. 次の画面で外線発信番号やダイヤル方式の設定をしてください。
外線発信に 0 や 9 が必要な場合は、必ず外線発信番号に数字を入れてください。

ダイヤル方法 トーン=プッシュホン回線
パルス=ダイヤル回線 　　です。

ダイヤルのプロパティ

所在地情報

所在地

登録名①: [北野] [新規追加] [削除]

市外局番②: 06

国番号③: 日本 (81)

ダイヤル方法

外線発信番号④: 市内 0 長距離 0

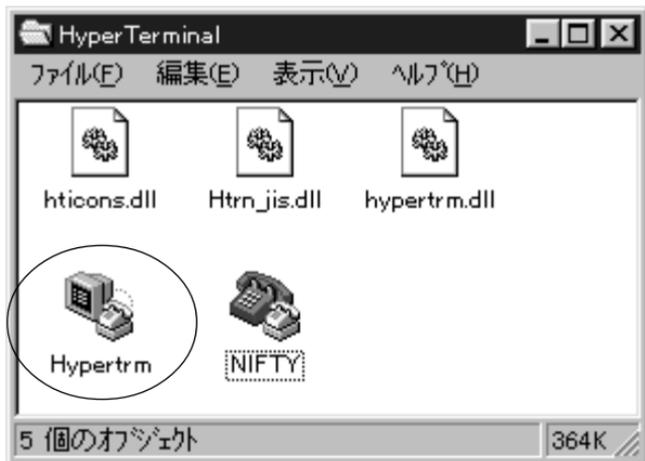
通話カードを使用する⑤ [追加]

キーホンの機能を利用するための番号⑥ []

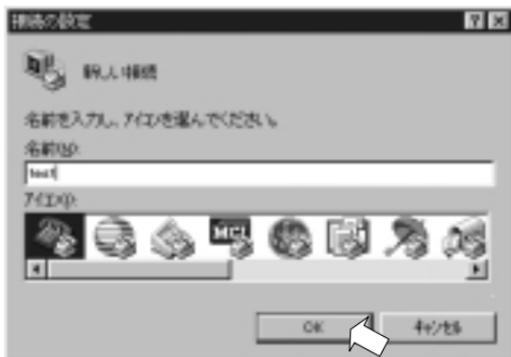
ダイヤル方法: トーン⑦ パルス⑧

OK キャンセル

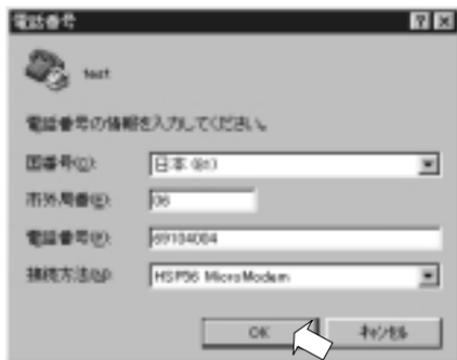
3. モジュージャックにモデムケーブルを接続してください。
4. 「スタート」 「プログラム」 「アクセサリ」 「通信」 「ハイパーターミナル」で以下の画面を出し「Hypertrm」をダブルクリックします。「ハイパーターミナル」の表示がない場合は、P.85「ハイパーターミナルの追加」を参照してください。



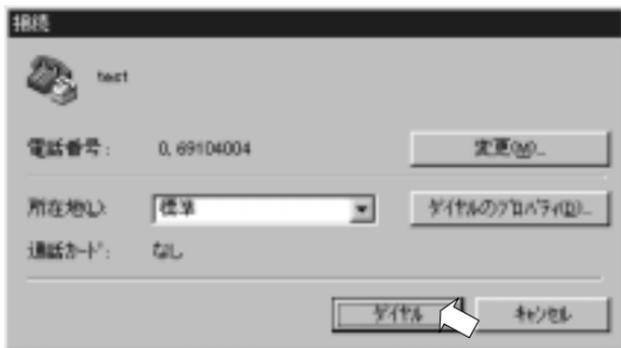
5. 名前を入れて「OK」をクリックしてください。



6. 電話番号を入れ、接続方法に「HSP56 MicroModem」を選択し、「OK」をクリックしてください。



上の電話番号はNifty大阪のアクセスポイントです。(一例)



「ダイヤル」をクリックするとダイヤルを開始します。

7. 以下の画面で接続成功です。



上記はNiftyへの接続例です。

7.Windows 2000でのインストール

7-1. ドライバのインストール

1. パソコンを立ち上げると「新しいハードウェアの検索ウィザード」の画面が表示されます。「次へ」をクリックして進めてください。



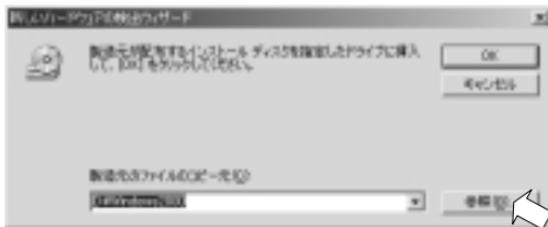
2. 以下の画面が表示されますので「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し「次へ」をクリックしてください。



3. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れ「場所を指定」のみにチェックを入れます。「次へ」をクリックしてください。



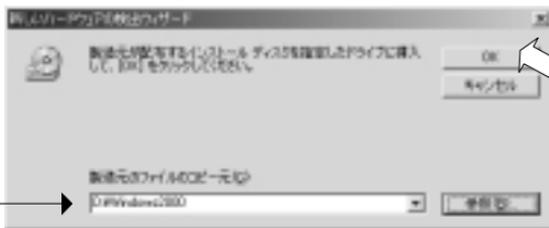
4. 「参照」をクリックしてください。



5. 「フォルダの参照」画面が表示されます。CD-ROM (PC156_DRIVERS) 内の「Windows2000」を指定し、「開く」をクリックします。



6. CD-ROM 内の「Windows2000」フォルダが指定されていることを確認し、(以下の例では d:\\$windows2000) 「OK」をクリックしてください。



注) パソコンの環境により、ドライブ名(「D:」)は異なります。

ドライバがコピーされます。

9. 最後に次の画面が表示されます。

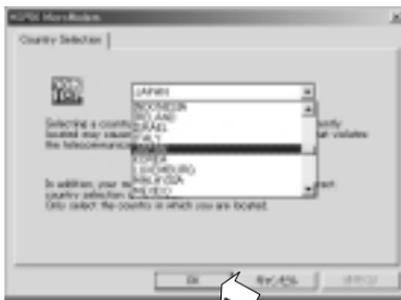
これでドライバのインストールは完了です。

「完了」をクリックしてください。



10. コントロールパネルの「HSP56 MicroModem」アイコンを開きます。

「JAPAN」を選択し、「OK」をクリックしてください。

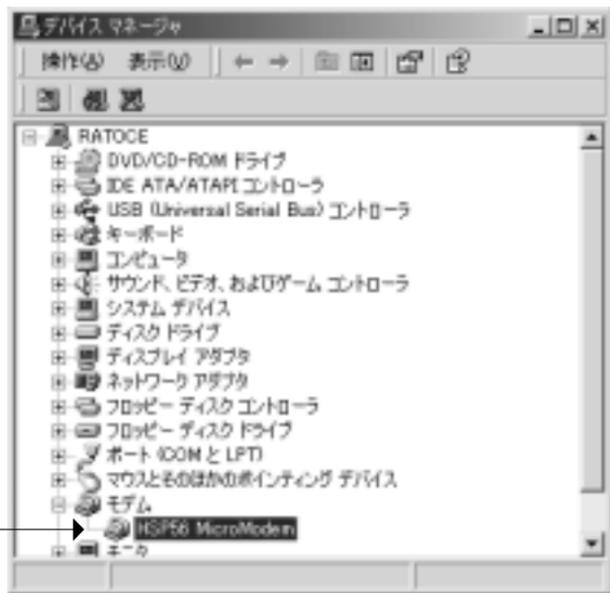


7 - 2 . インストールの確認とモデムとの通信

1. マイコンピュータを右クリックし、プロパティを開きます。
「ハードウェア」のタブを選び、「デバイスマネージャ」をクリックします。



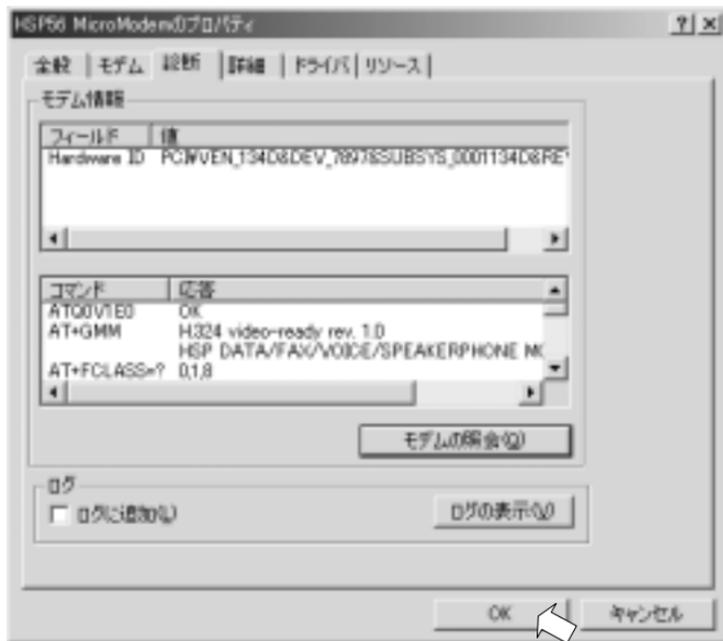
2. 「モデム」の[+]をクリックして「HSP56 MicroModem」が登録されていることを確認し、「HSP56 MicroModem」をダブルクリックして次頁の画面を表示します。



3. 「HSP56 MicroModemのプロパティ」画面にて「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されているのを確認します。
次に「診断」タグをクリックしてください。



4. 「モデムの照会」を選び以下の画面に変わるのを確認してください。
「OK」をクリックして処理を終了させてください。



これでモデムとの通信テストは完了です。

7 - 3 . 接続してみます

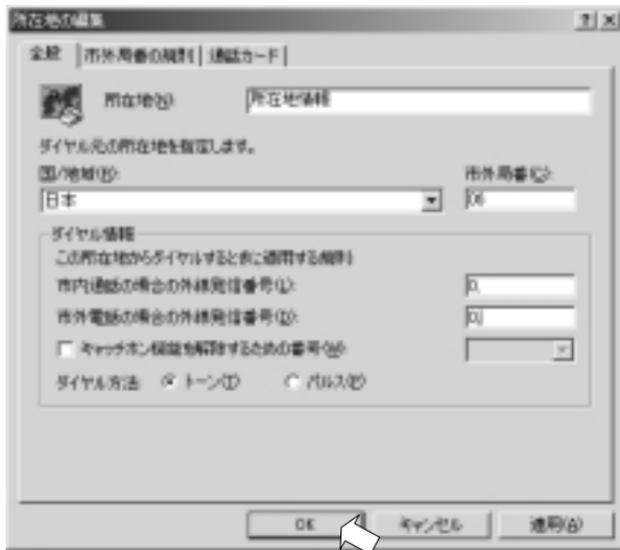
1. コントロールパネルの「電話とモデムのオプション」アイコンを選択し「編集」をクリックします。



2. 次の画面で外線発信番号やダイヤル方式の設定をしてください。
外線発信に 0 や 9 が必要な場合は、必ず外線発信番号に数字と ", " を入れてください。

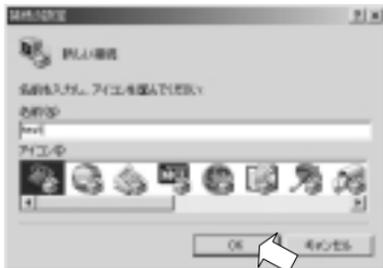
ダイヤル方法 トーン=プッシュホン回線
パルス=ダイヤル回線 です。

内容を確認して「OK」をクリックしてください。

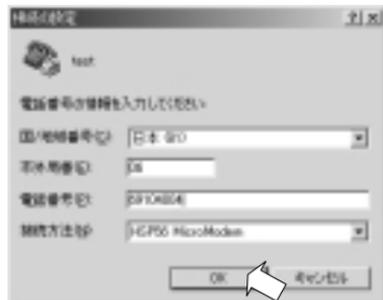


3. モジュラージャックにモデムケーブルを接続してください。

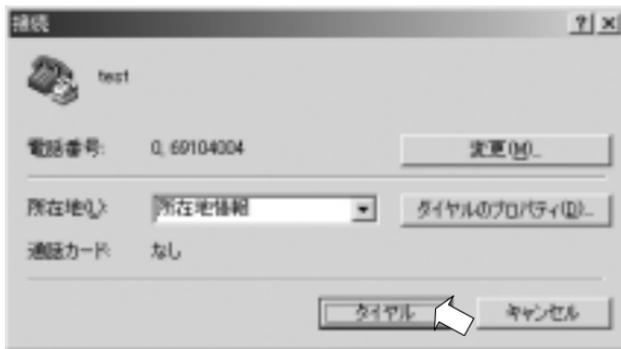
4. 「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「通信」「ハイパーターミナル」を起動します。名前を入れて「OK」をクリックしてください。「ハイパーターミナル」の表示がない場合は、P.85「ハイパーターミナルの追加」を参照してください。



5. 電話番号を入れ、接続方法に「HSP56 MicroModem」を選択し、「OK」をクリックしてください。



上の電話番号はNifty大阪のアクセスポイントです。(一例)



「ダイヤル」をクリックするとダイヤルを開始します。

6. 以下の画面で接続成功です。



上記はNiftyへの接続例です。

8 . トラブルシューティング

8 - 1 . 一般的トラブル

1. 通信速度

モデムに通信機器(電話機、F a x)をつけていた場合や、電話線を分岐器で分配した場合は通信速度が遅くなる場合があります。これらはずして、接続してください。

2. I S D Nのアナログポート接続

ターミナルアダプタには、一つのアナログポートに1台のアナログ機器しか接続できないものがあります。ターミナルアダプタの説明書をご確認ください。

3. AT コマンドの追加

AT コマンドが必要な場合は、AT コマンド・S レジスタ・リザルトコード一覧表を、CD-ROM 内の ATCOMMAND.TXT ファイルにて用意しています。ご参照ください。

8 - 2 . ハイパーターミナルの追加

WindowsMe/Windows2000 の場合

コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」アイコンをクリックし、「Windows ファイル」タグをクリックします。「通信」をダブルクリックします。



「ハイパーターミナル」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。

Windows98/95の場合

コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」アイコンをクリックし、「Windows ファイル」タグをクリックします。

「通信」をダブルクリックします。



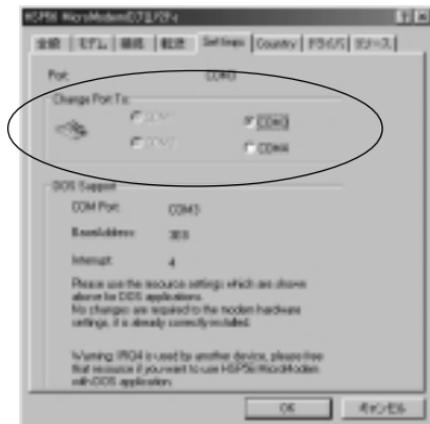
「ハイパーターミナル」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。

8 - 3 .COM ポートの変更 (Windows95/98 のみ)

既に COM1、COM2 に内蔵のシリアルポートが割り当たっているにも関わらず、REX-PC156 が COM1、COM2 に割り当たってしまう場合、以下の方法にて COM ポートを変更することが可能です。

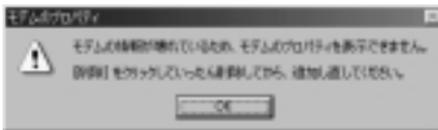
また場合によっては変更できない場合もあります。その場合は内蔵シリアルポートを使用できない設定 (Disable) にする必要があります。詳細はパソコンのマニュアルをご参照ください。

デバイスマネージャから「HSP56 MicroModem」のプロパティを開き、「Setting」タブを開きます。[Change Port To]の中から、変更したい COM ポートを選択し、「OK」をクリックします。



8 - 4 . プロパティ画面がマニュアルと異なる

HSP56 MicroModemのプロパティ画面がマニュアルと異なる、プロパティを開くと「モデムが壊れている...」と表示される場合<下記参照>、ご使用のOSと異なるOS用のドライバがインストールされています。Windows95/98/Meの場合、P.92「モデムの削除」より一旦「HSP56 MicroModem」を削除し、再インストールを行ってください。Windows2000の場合、大変お手数ですが、OSを再インストールする必要があります。



8 - 5 . 「ポートが開かれていません」と表示される

「HSP56 MicroModem」の通信テストを行ったとき、正常にATコマンドが返答されない場合、以下の設定を行っても同様かご確認ください。

- ・他にソフトウェアが起動している（特にモデム（COMポート）を使用する）場合、そのソフトウェアを終了します。
- ・コントロールパネルの「モデム」のプロパティにて「HSP56 MicroModem」以外のモデムが登録されている場合、その他のモデムを削除します。（あるいはすべてのデバイスを削除し、パソコンを再起動して、「HSP56 MicroModem」のみを登録します）
- ・P.92「モデムの削除」を参照にドライバを削除し、再インストールを行ってください。そのとき、可能であればPCIスロットを変更してください。
- ・P.86「COMポートの変更」（Windows95/98のみ）を参照に、COMポートの変更を行ってください。
- ・パソコン本体のシリアルポートを使用不可（Disable）に設定してください。（可能な場合。設定方法はパソコンのマニュアルを参照してください。）

8 - 6 . 例外エラーが発生し、インストールできない

インストール時、CD-ROM を選択せずにインストールが開始され、
「例外 OE が VXD VCOMM(07)+... で発生しました ...」
と表示される場合

上記エラーはモデムボードを交換した場合に発生します。

以前使用されていたモデムが、REX-PCI56 と同社のチップ (PCTel 社) の場合、以前のモデムのドライバが組み込まれます。しかし、製品自体は異なるためエラーが発生します。

以前使用されていたモデムを完全に削除の上、「REX-PCI56」を組み込んでください。

なお削除の方法は、以前のモデムのマニュアル (組み込みパソコンの場合はそのパソコンのマニュアル) を参照してください。

8 - 7 . 発信すると、パソコンがリセットする

8 - 8 . 「Windows 保護エラー」が発生し起動しない

「ハイパーターミナル」や「ダイヤルアップネットワーク」で発信すると、パソコンがリセットする場合や、「Windows 保護エラー」が発生する場合

他のデバイス（サウンドボードなど）と同じ割り込み（IRQ）を使用している可能性があります。

- ・パソコン側のBIOSで各PCIスロットのリソースを設定する
- ・PCIスロットを変更してする

などして「REX-PCI56」（HSP56 MicroModem）を他のデバイスと異なるIRQに割り振っても同様が確認ください。

8 - 9 . パルスで発信できない (Windows2000/XP)

設定にて「パルス」を選択しているにも関わらず、トーン音がして接続できない場合

[スタート] メニューから [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット接続] - [インターネットオプション] を選択します。

「インターネットのプロパティ」画面の「接続」タブをクリックします。「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」から設定する名称を選択し、[設定] をクリックします。

「xxx の設定 (xxx は選択した名称)」画面が表示されます。[プロパティ] をクリックします。

「xxx プロパティ (xxx は選択した名称)」画面が表示されます。

「電話番号」の「ダイヤル情報を使う」にチェックを入れ、市外局番を入力してください。

各画面にて [OK] ボタンをクリックし、終了します。接続可能かご確認ください。

9 . モデムの削除

誤って他のデバイスを削除した場合は、他の機器やWindows 自身が誤動作する可能性があります。十分に注意してください。

また、正しくインストールされなかった場合は削除すべきものが表示されない場合がありますので、無視して次に進んでください。

9 - 1 .Windows XP での削除方法

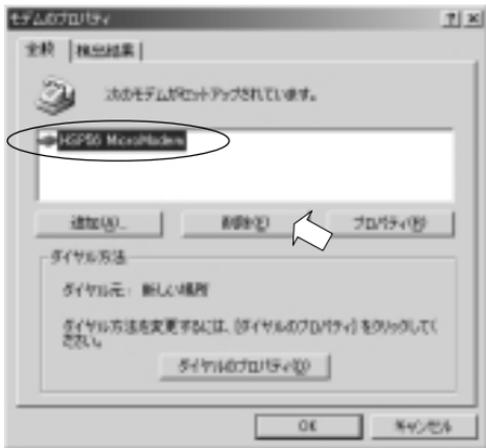
コントロールパネルの「プリンタとその他のハードウェア」 「電話とモデムのオプション」のアイコンをダブルクリックし、「モデム」タブをクリック、削除するモデムを選択した後「削除」をクリックします。



削除後、パソコンを再起動してください。

9 - 2 .Windows Me での削除方法

1. コントロールパネルの「モデム」のアイコンをダブルクリック、削除するモデムを選択した後「削除」をクリックします。



2. マイコンピュータを右クリックし、プロパティを開きます。
デバイスマネージャを開き「WDM モデムエミュレータ」の+をクリック
して「HSP56 WDM DEVICE」を選択し、「削除」をクリックします。



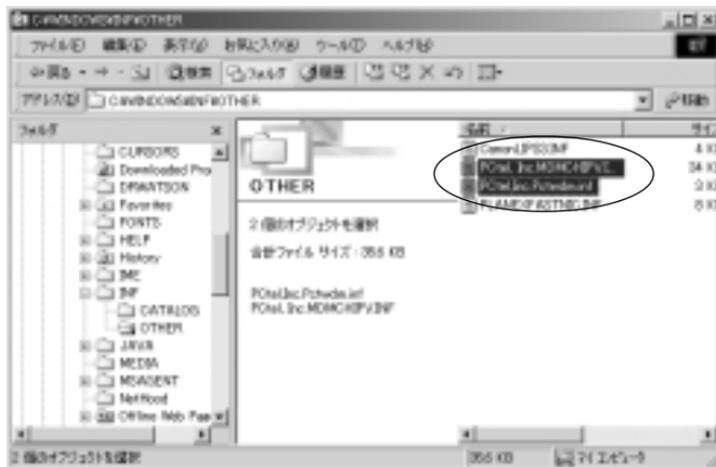
削除の確認画面が表示されますので「OK」をクリックします。

3. 「マイコンピュータ」を右クリックし、「エクスプローラ」を開きます。
「ツール」をクリックし、「フォルダオプション」を選択します。



「すべてのファイルとフォルダ」を表示する」を選択し、「OK」をクリックします。

4. エクスプローラで「Windows¥inf¥other」の下図の
「Pctel, Inc MDMCHIPV.INF」「Pctel, Inc PCTMDM.INF」を削除します。



確認画面が表示されます。「はい」をクリックします。

エクスプローラを閉じます。

9 - 3 .Windows 98 での削除方法

1. コントロールパネルの「モデム」のアイコンをダブルクリック、削除するモデムを選択した後「削除」をクリックします。



2. 「マイコンピュータ」を右クリックし、「エクスプローラ」を開きます。
「表示」をクリックし、「フォルダオプション」を選択します。



- 「すべてのファイルを表示する」を選択し、「OK」をクリックします。

3. 「Windows¥inf¥other」 の下の 「Pctel Inc MDMCHIPV.INF」 を削除します。(下図参照)



9 - 4 .Windows 95 での削除方法

6 - 1 で述べた Windows95 のバージョン 4.00.950B 4.00.950C の時は Windows98 の削除方法を参照ください。4.00.950 4.00.950A の時は、この方法で削除してください。

1. コントロールパネルの「モデム」のアイコンを選択し 削除するモデムを選択した後「削除」をクリックします。

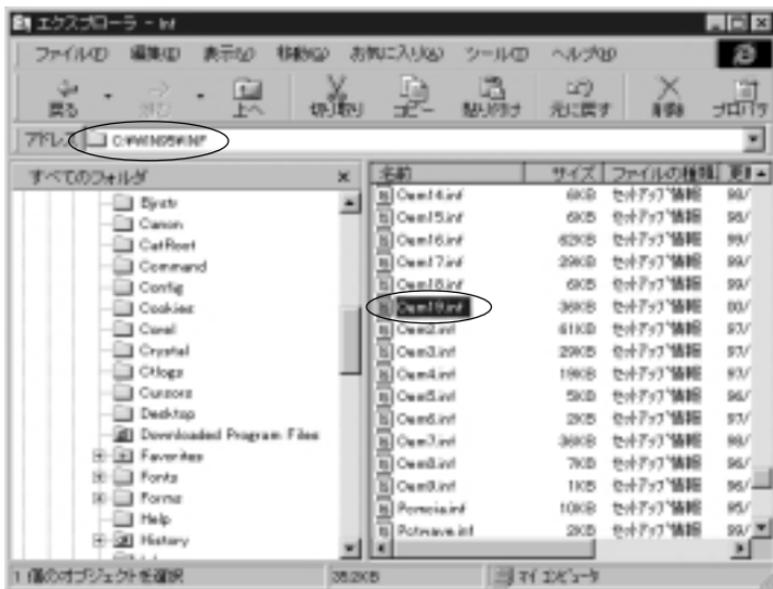


2. 「マイコンピュータ」を右クリックし、「エクスプローラ」を開きます。
「表示」をクリックし、「フォルダオプション」を選択します。



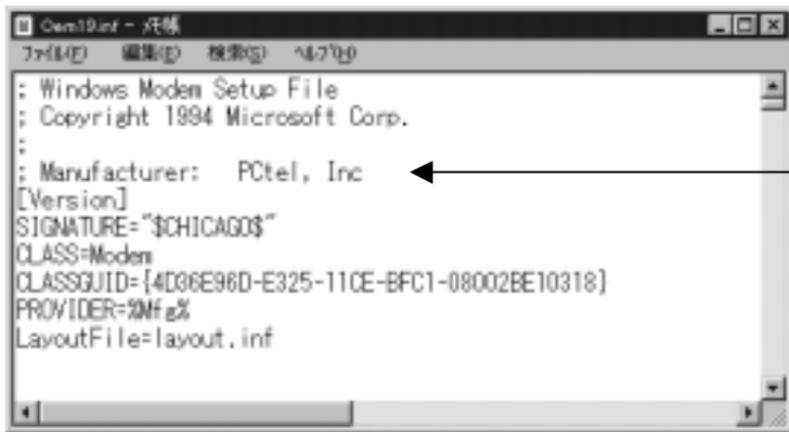
「すべてのファイルを表示する」を選択し、「OK」をクリックします。

3. 「Windows¥inf」の下の「0emx.inf」の(xは数字)内容を確認します。(下図の例は c:¥win95 となっておりますが一般には c:¥windows¥inf です。)



最後にモデムをインストールした場合は「0emx.inf」のxは一番大きな値が割り当てられていますが必ず次の画面で内容を確認してください。

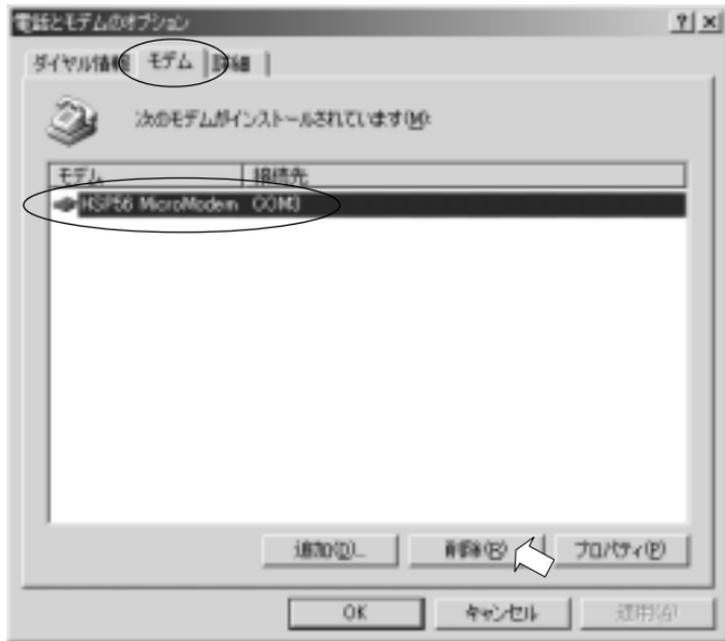
4. 「Oemx.inf」の内容が以下の通りになっているのを確認し、ファイルを閉じ、「Oemx.inf」を削除します。



```
Oem19.inf - 印刷
ファイル 編集 検索 ヘルプ
: Windows Modem Setup File
: Copyright 1994 Microsoft Corp.
:
: Manufacturer: Pctel, Inc
[Version]
SIGNATURE="$CHICAGO$"
CLASS=Modem
CLASSGUID={4D06E96D-E325-11CE-BFC1-08002BE10318}
PROVIDER=%Mfg%
LayoutFile=layout.inf
```

9 - 5 .Windows 2000 での削除方法

1. コントロールパネルの「電話とモデムのオプション」のアイコンをダブルクリックし、「モデム」タグをクリック、削除するモデムを選択した後「削除」をクリックします。



3. 「マイコンピュータ」を右クリックし、「エクスプローラ」を開きます。
「ツール」をクリックし、「フォルダオプション」を選択します。



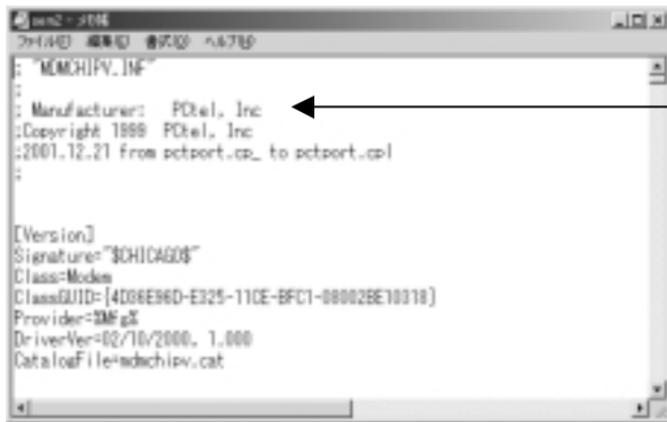
「すべてのファイルとフォルダ」を表示する」を選択し、「OK」をクリックします。

3. 「WINNT¥INF」の下の「0emx.inf」の(xは数字)内容を確認します。



最後にモデムをインストールした場合は「0emx.inf」のxは一番大きな値が割り当てられていますが必ず次の画面で内容を確認してください。

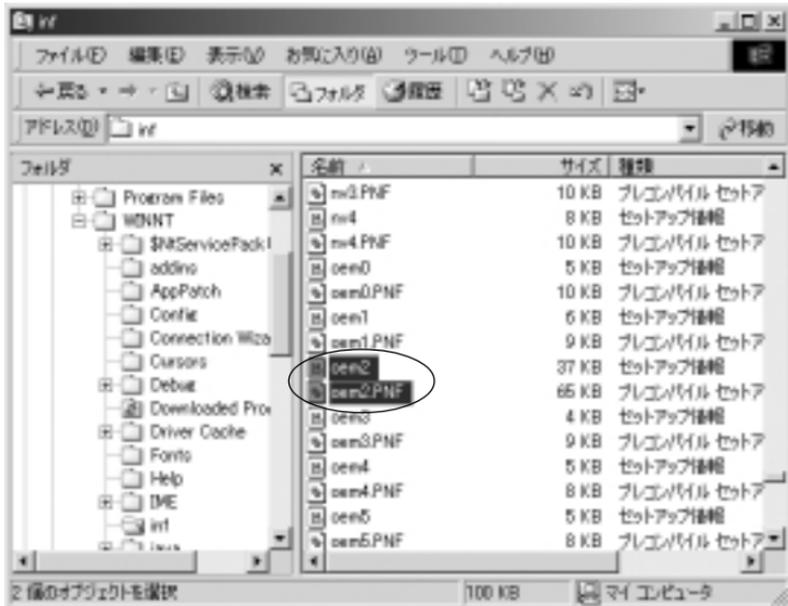
4. 「0emx.inf」の内容が以下の通りになっているのを確認してください。



```
0emx - Notepad
ファイル 編集 書式 ヘルプ
: "0emx.inf"
:
: Manufacturer: Pctel, Inc
: Copyright 1999 Pctel, Inc
: 2001.12.21 from pctport_cp_ to pctport_cp1
:
:
[Version]
Signature="30HICAG08"
Class=Modem
ClassGUID={4D0E96D-E325-11CE-BFC1-0002BE10018}
Provider=3MF.gx
DriverVer=02/10/2000, 1.000
CatalogFile=ndchipv.cat
```

ファイルを閉じます。

5. 「Oemx.inf」及び同じ番号の「Oemx.PNF」を削除します。



10 .Linuxでの使用

本ドキュメントでは、インストール方法について記述しています。

注意事項

1. 本情報はあくまで参考情報です。Linux環境において弊社製品の動作を保証するものではありません。
2. 本情報は限られた動作環境における動作結果であり、すべてのお客様のご利用環境にて動作を保証するものではありません。
3. Linuxシステムの導入や運用については、あくまでもお客様の自己責任のもとでお願いいたします。
4. 本情報の公開内容に基づきお客様または第三者に生じたいかなる損害についても、弊社は一切の責任を負いかねます。
5. 本情報に記載される内容は、予告なしに変更される場合があります。
6. Linux環境での弊社製品のご使用につきまして、弊社では **E-mail** **のみにて**インストールサポートのみおこないます。

インストールサポートとは、Linuxが正常に動作している環境で、弊社製品を使用できるようにドライバをインストールする作業を支援するサポートサービスです。なお、インストールサポートはお客様の環境での動作を保証するものではありません。以上の点をあらかじめご了承ください。

当社HomePage 製品紹介 OS対応一覧 Linux確認を参照ください。

インストール方法

ここでは、RedHat 7.2 (Linux Kernel 2.4.7-10)での例で説明いたします。MODEM Driver インストール時にコンパイルを行いますので、Linux インストール時には、開発環境をインストールしておく必要があります。判らない場合、すべてをインストールしてください。インストール後、次のコマンドを入力ください。

```
cd /usr/src
ln -s linux-2.4.7-10 linux
```

1. root にてログインします。
2. /dev/modemがないことを確認します。

存在した場合、rm /dev/modem で削除します。

3. CD-ROM内のドライバファイルをHDDのワークのディレクトリにコピーします。X Windowsが起動できる場合、ファイルマネージャより本ディレクトリの6ファイルを /pci56 にコピーしてください。

```
-- install
-- uninstall
-- pctel.tar.gz
-- ptserial.tar.gz
-- README.TXT
-- README-J.TXT
```

コマンドラインからのコピーは以下のコマンドを入力ください。

```
mount -t iso9660 /dev/cdrom /mnt/cdrom
cd /
mkdir /pci56
cp -r /mnt/cdrom/linux /pci56
```

4. ファイルタイプを変更します。

```
cd /pci56
chmod 777 install uninstall
```

5. ドライバを登録します。

```
cd /pci56
./install
```

コンパイルが実行され登録実行されます。

/var/log/messages の中に、以下のような実行結果があるか確認
します。

```
PCTel device (0x30) found: irq=11, iobase=0xec00
```

```
PCTel driver version 5.05c-pctel (PCT789) (2001-08-08) with
    MANY_PORTS MULTIPORT SHARE_IRQ SERIAL_PCI ISAPNP enable
ttyS15 at 0xec00 (irq=11) is a PCTel
```

```
PCTel initialization. Country code is 0
```

登録メッセージが表示されないとリソースが確保されていないこと
になります。

6. 通信ユーティリティから発信の確認をします。

```
minicom
```

CTRL + A を押して Z を押せば操作メニューが表示されます。

AT コマンドにて発信の確認を行います。

7. ISP インターネットサービスプロバイダへの接続

GNOME メニューより INTERNET PPP 設定を実行し、必要事項を設定します。

/dev/ttyS15 と設定する必要がある場合があります。

8. ドライバを削除します。(任意)

```
cd /pci56  
./uninstall
```

9. システムを再起動したときは、5. ドライバの登録が必要です。

1 1 . 修理に関して

故障と思われる症状が発生したときには、まずマニュアルやReadmeを参照し設定や接続が正しいか確認してください。改善されない場合は、次の要領で弊社修理センター宛に製品をお送りください。

< 製品送付先 >

〒 556-0012

大阪府大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル
ラトックシステム株式会社 修理センター宛

< 送付していただくもの >

- ・本製品の保証書の原本
- ・障害の起きる製品
- ・質問用紙に明記した資料

状況・症状等、詳細な記載されていない場合、確認時間がかかる場合があります。出来るだけ詳しくご記入ください。

< 送付方法 >

宅急便等、送付された控えが残る方法でお送りください。

- ・送料は送り主様のご負担とさせていただきます。

輸送中の事故につきましては弊社で責任を負いかねますので、ご了承ください。

< 修理費用 >

保証書に記載の保証期間中であれば無償修理となります。詳細は保証書をご覧ください。

・保証書の原本が添付されていない場合は、有償になる場合があります。必ず添付してください。

REX - P C I 5 6 質問用紙

お手数ですが拡大コピーの上ご記入ください。

連絡先	〒	

	電話	Fax
お名前	E-Mail	
購入店		購入日
パソコン機種名	メーカー	型番
使用OS	Windows()	
ご質問内容		

添付資料	デバイスマネージャのシステム概要 その他()	

デバイスマネージャのシステム概要の印刷方法

- (1). 「コントロールパネル」から「システム」をダブルクリックします。
- (2). 「システムのプロパティ」の「デバイスマネージャ」から「印刷」をクリックします。
- (3). レポートの種類で「システムの概要」を選択し「OK」をクリックします。